

# ゆうばえのみち再整備計画（素案）

---

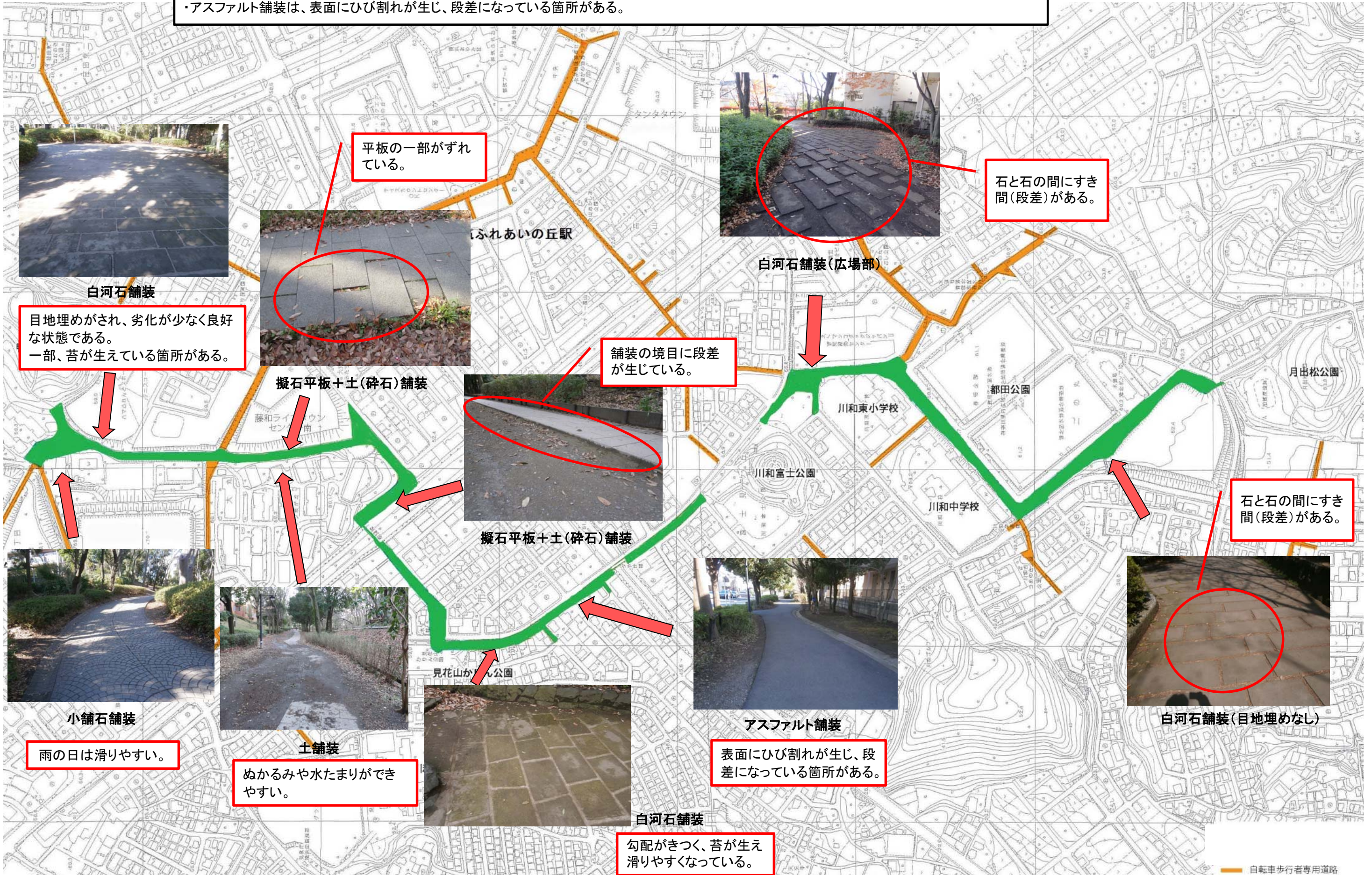
平成28年4月  
都筑土木事務所

## 基本的な考え方

- 劣化が少なく機能的に問題がない施設は、再利用(必要に応じて補修・清掃)。
- バリアフリー基準に適合するよう施設を更新。
- 安全・快適に通行できるように照明の更新や、樹木の間伐、園路の拡幅 など。

# 課題1 舗装

- ・小舗石舗装は、雨の日などで滑りやすい。
- ・白河石舗装は、舗装勾配のきつい箇所や苔の生えやすい箇所は、滑りやすい。目地の段差で、車いす・ベビーカーなどの通行に支障がある。
- ・擬石平板舗装は、舗装の境目に段差が生じている。平板の一部がずれている。
- ・土(碎石)舗装は、ぬかるみや水たまりができやすい箇所がある。
- ・アスファルト舗装は、表面にひび割れが生じ、段差になっている箇所がある。



白河石舗装

目地埋めがされ、劣化が少なく良好な状態である。一部、苔が生えている箇所がある。



平板の一部がずれている。



石と石の間にすき間(段差)がある。

白河石舗装(広場部)

舗装の境目に段差が生じている。



擬石平板+土(碎石)舗装

石と石の間にすき間(段差)がある。



白河石舗装(目地埋めなし)



小舗石舗装

雨の日は滑りやすい。



土舗装

ぬかるみや水たまりができやすい。



アスファルト舗装

表面にひび割れが生じ、段差になっている箇所がある。



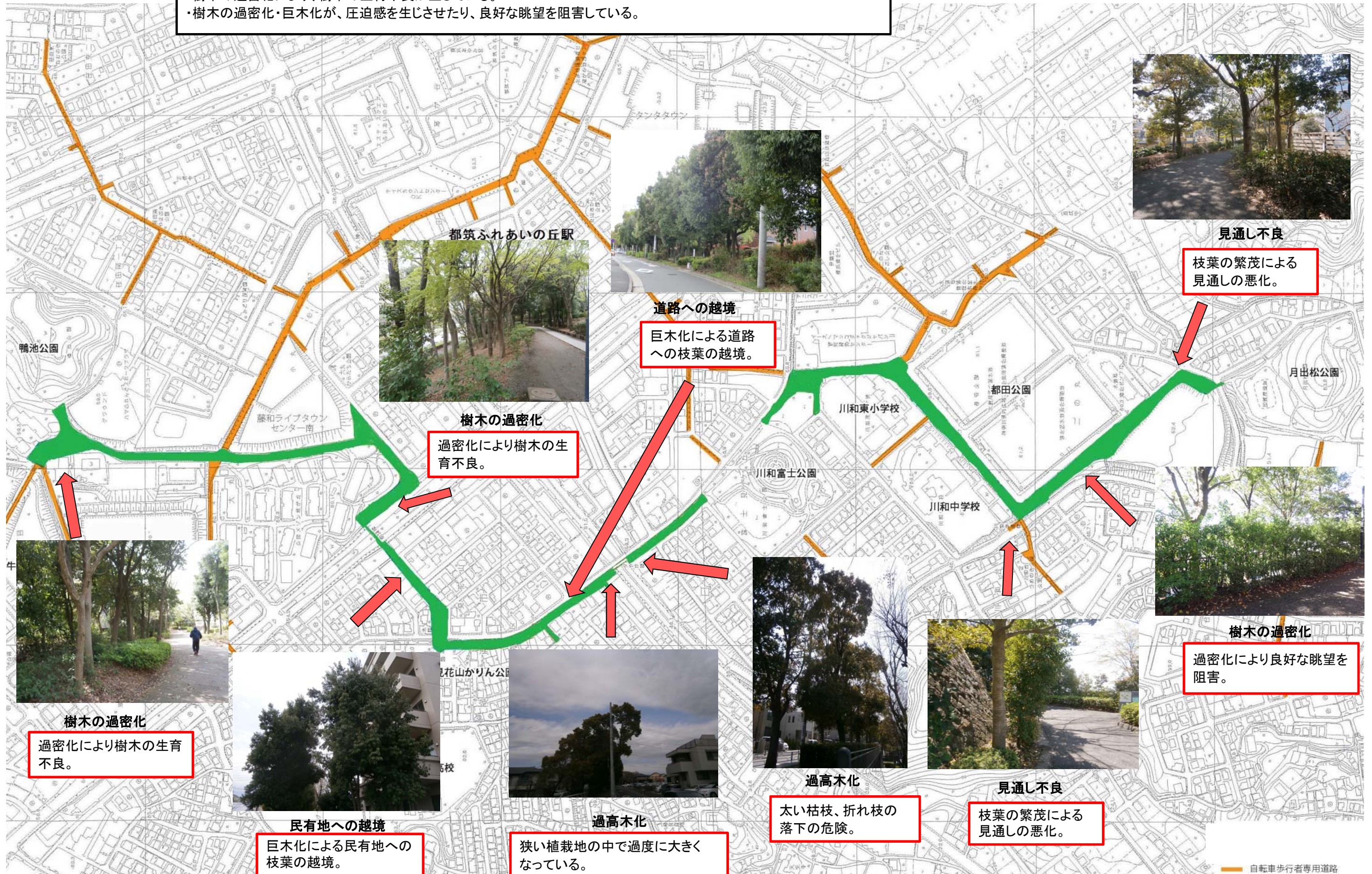
白河石舗装

勾配がきつく、苔が生え滑りやすくなっている。

自転車歩行者専用道路

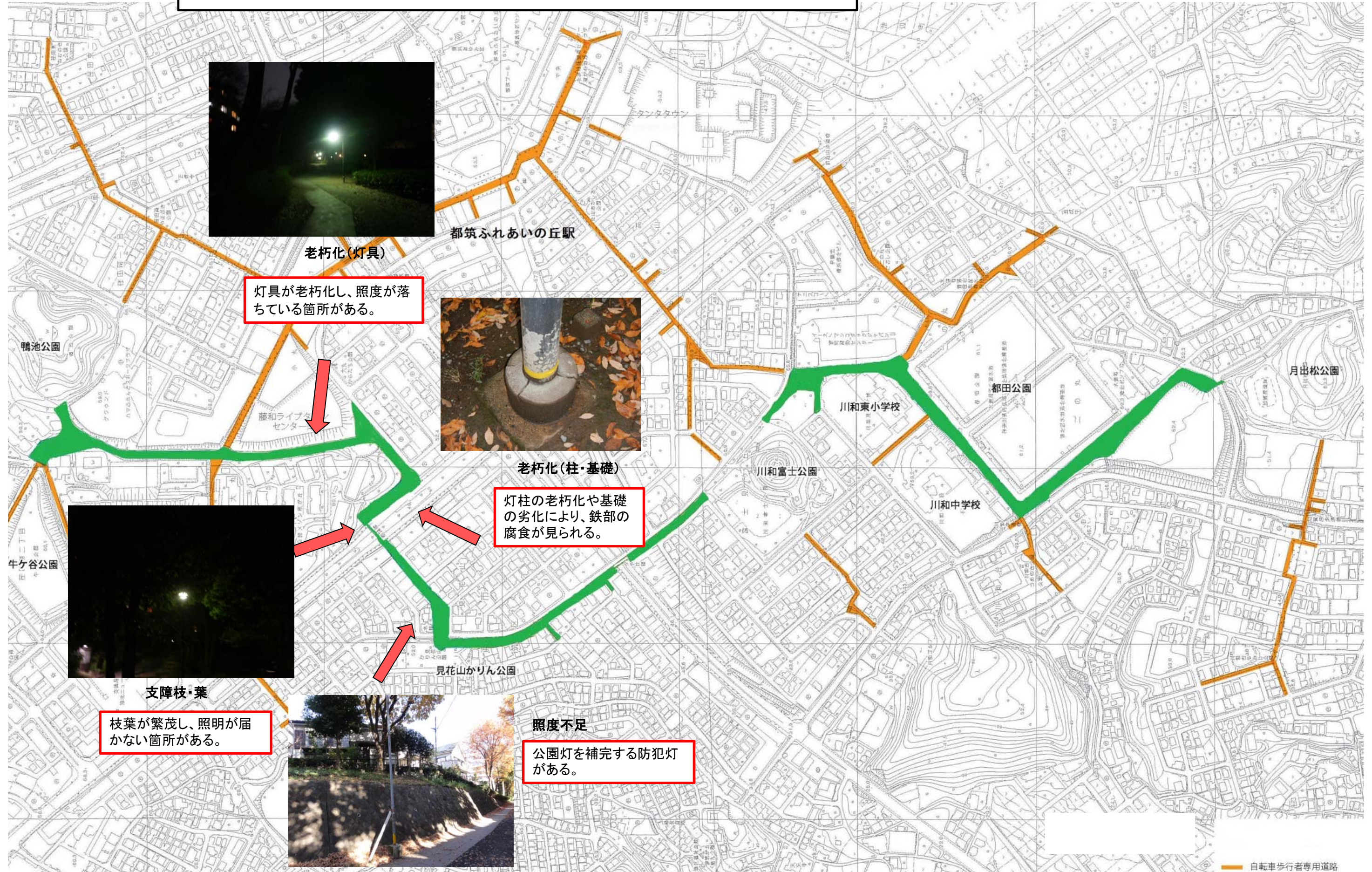
## 課題2 樹木

- ・樹木の巨木化により、民有地や道路へ枝葉が越境している。
- ・樹木の過高木化により、太い枯枝、折れ枝の落下の危険がある。
- ・枝葉の繁茂により、見通しが悪化している。
- ・樹木の過密化により、樹木の生育不良が生じている。
- ・樹木の過密化・巨木化が、圧迫感を生じさせたり、良好な眺望を阻害している。



### 課題3 照明

- ・灯具(電球)が老朽化し、照度が落ちている箇所がある。
- ・灯柱の老朽化や基礎の劣化により、鉄部の腐食が見られる。
- ・枝葉が繁茂し、照明が届かない箇所がある。
- ・公園灯を補完する防犯灯がある。



老朽化(灯具)

灯具が老朽化し、照度が落ちている箇所がある。



老朽化(柱・基礎)

灯柱の老朽化や基礎の劣化により、鉄部の腐食が見られる。



支障枝・葉

枝葉が繁茂し、照明が届かない箇所がある。



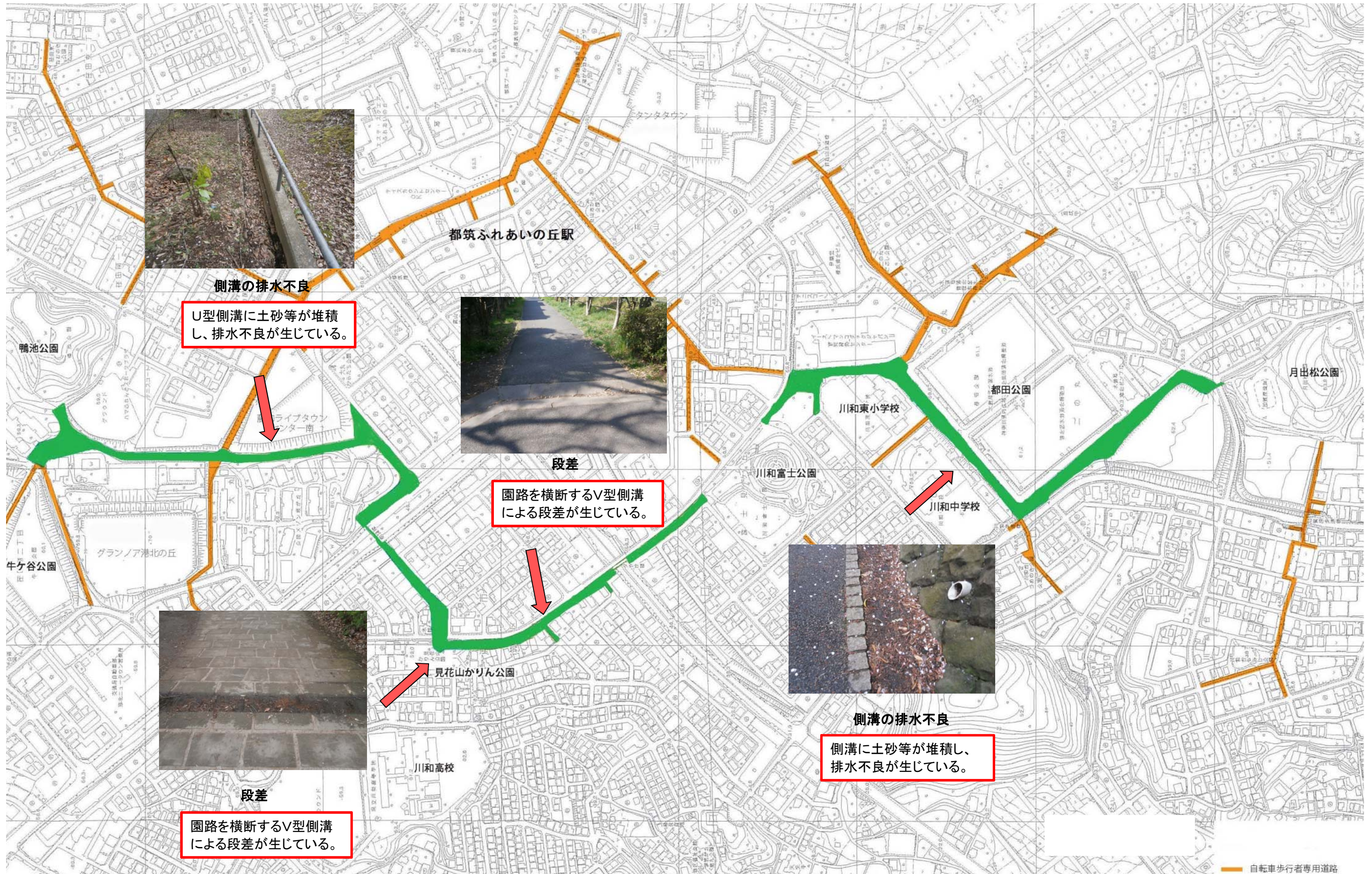
照度不足

公園灯を補完する防犯灯がある。

自転車歩行者専用道路

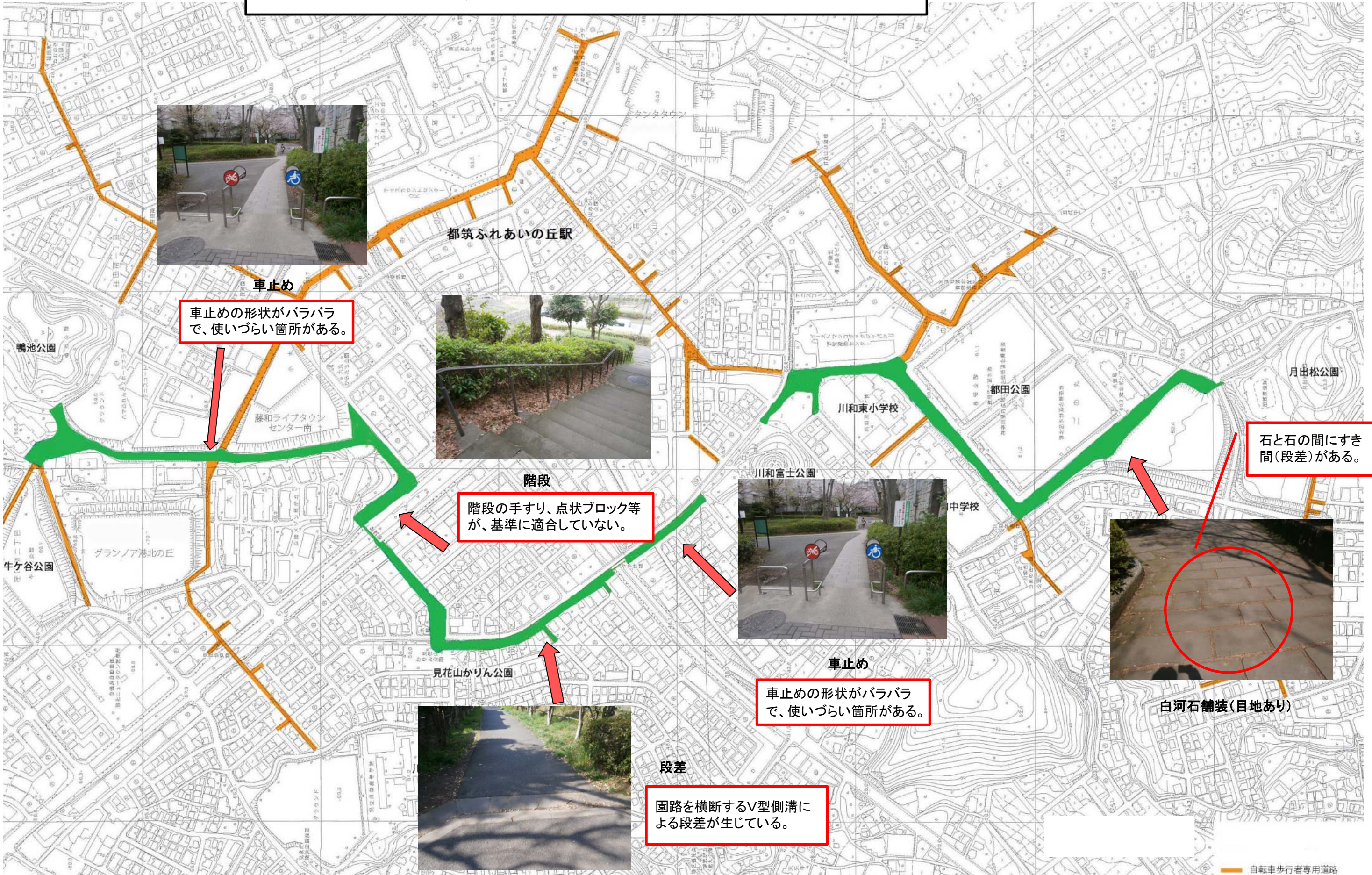
# 課題4 排水

- ・側溝、樹に土砂等が堆積し、排水不良が生じている。
- ・園路を横断するV型側溝による段差が生じている。



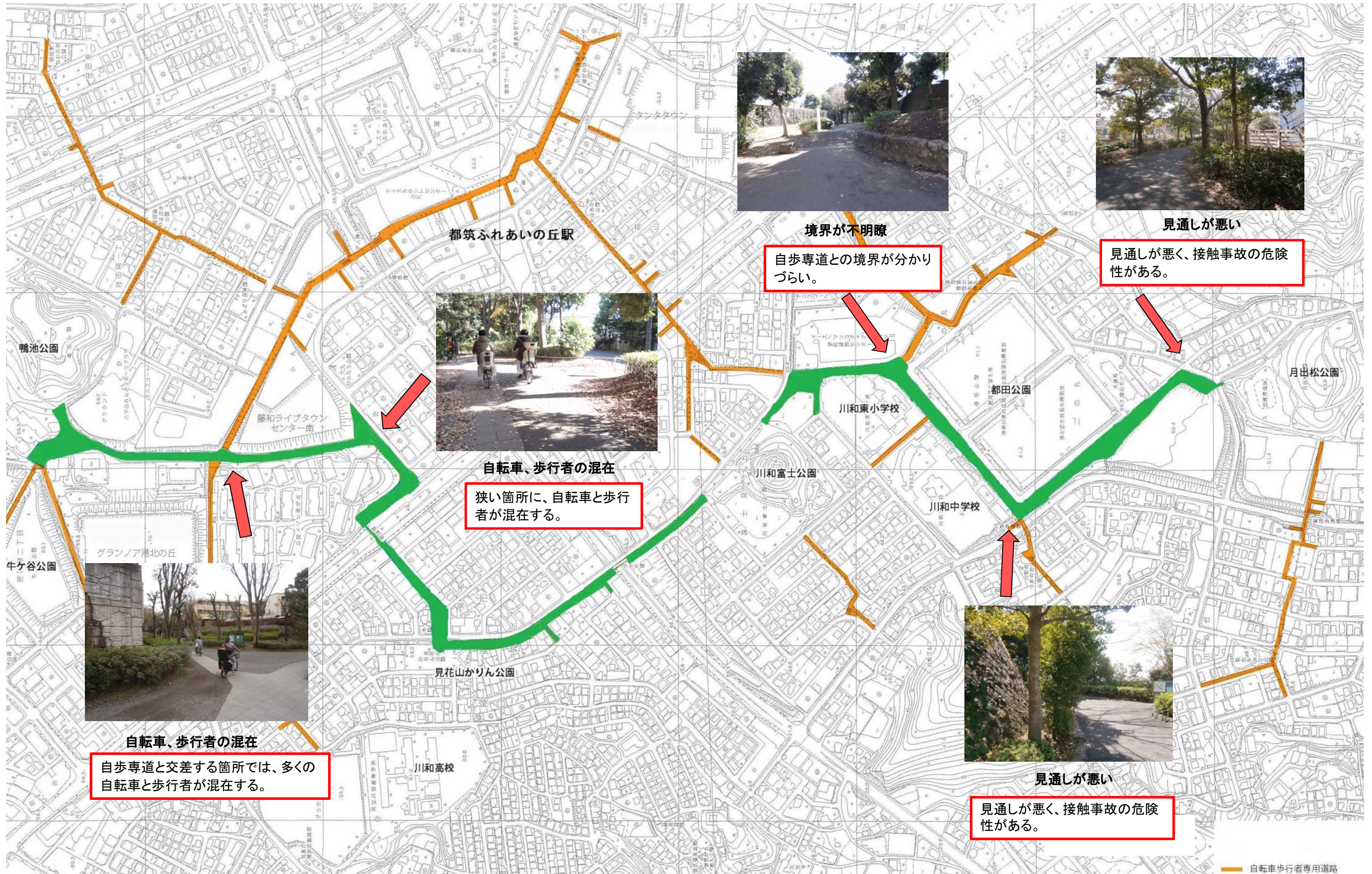
# 課題5 バリアフリー

現行のバリアフリー基準に適合していない施設がある。  
 ・階段：雨の日など滑りやすい箇所や、手すり、点状ブロック等が基準に適合していない。  
 ・出入口：車止めの形状がバラバラで、使いづらい箇所がある。  
 ・園路：雨の日など滑りやすい舗装や、横断する側溝などによる段差がある。



# 課題6 自転車・歩行者の安全

- ・狭い場所に、自転車と歩行者が混在し、接触しそうな状況がある。
- ・自転車歩行者専用道路(自歩専道)との境界が分かりづらく、自転車に乗ったまま通行している。
- ・見通しが悪く、接触事故の危険性がある。



境界が不明瞭  
自歩専道との境界が分かりづらい。



見通しが悪い  
見通しが悪く、接触事故の危険性がある。



自転車、歩行者の混在  
狭い箇所、自転車と歩行者が混在する。



自転車、歩行者の混在  
自歩専道と交差する箇所では、多くの自転車と歩行者が混在する。



見通しが悪い  
見通しが悪く、接触事故の危険性がある。

— 自転車歩行者専用道路



# 解決の方向性1 舗装

- ・雨の日など滑りやすい小舗石舗装は撤去し、アスファルト舗装に更新する。
- ・白河石舗装は、目地埋めがされ、劣化が少ない箇所(勾配のきついところは除く)や、広場的な箇所では既存を活用するとともに、目地埋めや清掃による改修を行う。また、樹木を伐採、剪定し、日当たりを確保する。
- ・擬石平板舗装は現況を補修・活用するとともに、並行する土(碎石)舗装を新たにアスファルト舗装とし、通行しやすくする。
- ・劣化の少ないアスファルト舗装は既存を残しつつ、アスファルト舗装により園路を拡幅する。
- ・老朽化したアスファルト舗装は部分補修する。
- ・出入口や自歩専道との交差箇所は、境界を分かりやすくするために、部分的にカラーアスファルトを設置する。



目地埋めがされ、劣化の少ない箇所は、現況の白河石舗装を残す。苔を清掃し、樹木を伐採、剪定し、日当たりを確保する。

出入口や自歩専道との交差箇所は、境界を分かりやすくするために、部分的にカラーアスファルトを設置する。(イメージ)

既存の平板を残し、並行してアスファルト舗装を設置する。

広場的な箇所では、既存の白河石を活用するとともに、目地埋めや清掃による改修を行う。(イメージ)



雨の日など滑りやすい小舗石舗装は撤去し、アスファルト舗装に更新する。(イメージ)

並行してアスファルト舗装を設置する。



既存を残しつつ、アスファルト舗装により園路を拡幅する。



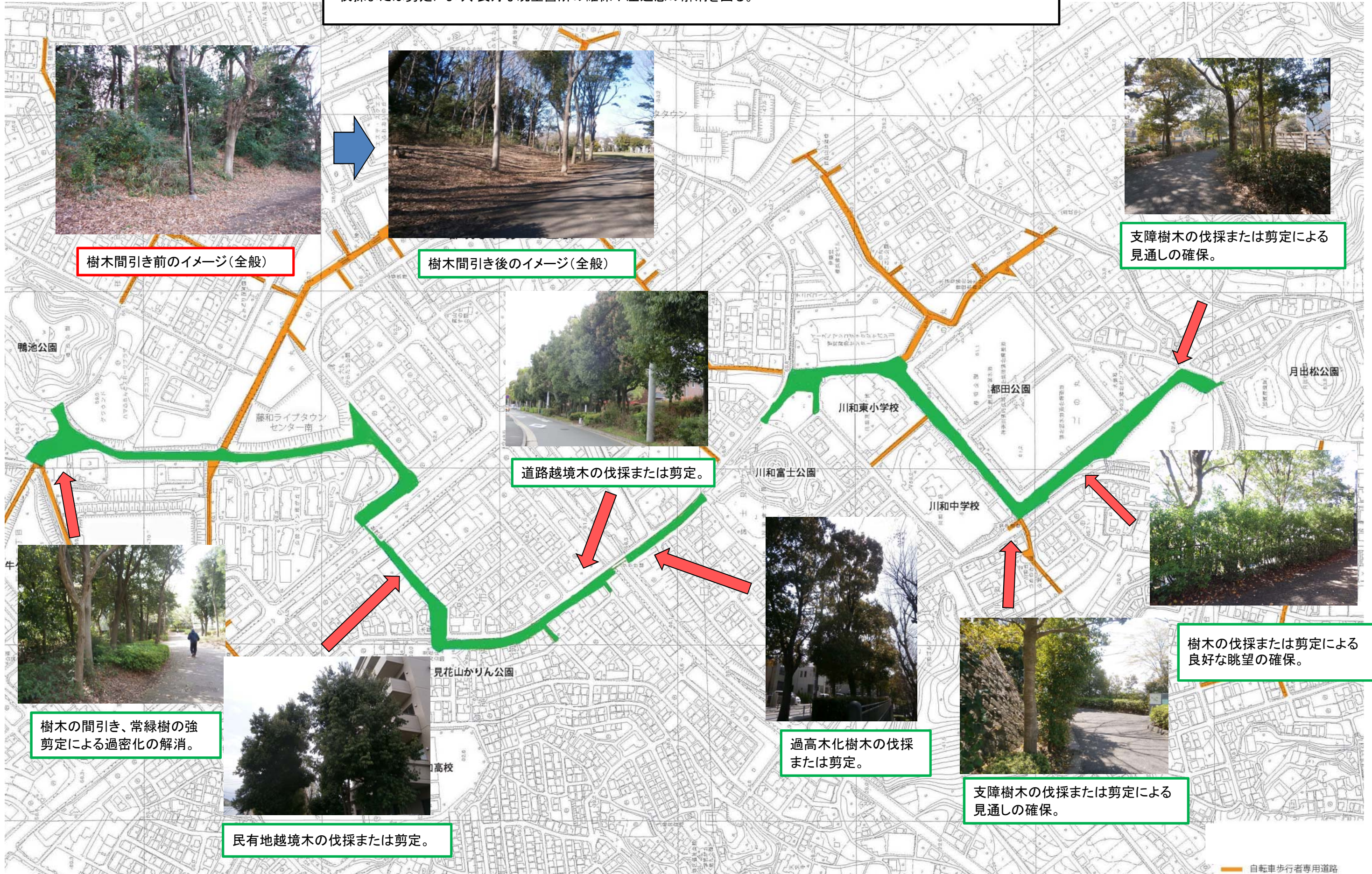
アスファルトを部分補修する。



白河石舗装の目地埋めを行う。苔を清掃し、樹木を伐採、剪定し、日当たりを確保する。

## 解決の方向性2 樹木

- ・密集し生育が悪い木や、弱っている木を間引きするとともに、常緑樹の強剪定を行い、緑道内を明るく風通しを良くする。
- ・民有地や道路への越境木や過高木は、伐採または剪定する。
- ・見通し悪化の原因となる樹木は、伐採または剪定する。
- ・伐採または剪定により、良好な眺望箇所の確保や圧迫感の解消を図る。



樹木間引き前のイメージ(全般)



樹木間引き後のイメージ(全般)



支障樹木の伐採または剪定による見通しの確保。



道路越境木の伐採または剪定。



樹木の間引き、常緑樹の強剪定による過密化の解消。



民有地越境木の伐採または剪定。



過高木化樹木の伐採または剪定。



樹木の伐採または剪定による良好な眺望の確保。



支障樹木の伐採または剪定による見通しの確保。

自転車歩行者専用道路

### 解決の方向性3 照明

- ・公園緑地設計指針に規定する照度基準となるよう、更新・増設する。  
 主な場所(園路、交差点、広場、出入口、階段、橋)では、1.5ルクス、それ以外では0.5ルクスとする。(設計照度)
- ・灯具(電球)は、省エネで寿命の長いLED等に更新する。
- ・既存の灯柱のうち現状で状態の良いものは、既存を活用する。
- ・照明の支障になる樹木(将来的に枝葉を伸ばし支障となる樹木を含む)は、伐採する。



LED化施工例  
ささぶねのみち

省エネで、寿命の長いLED等の灯具に更新する。(全般)(イメージ)



灯柱や基礎が老朽化している照明は、更新する。(全般)



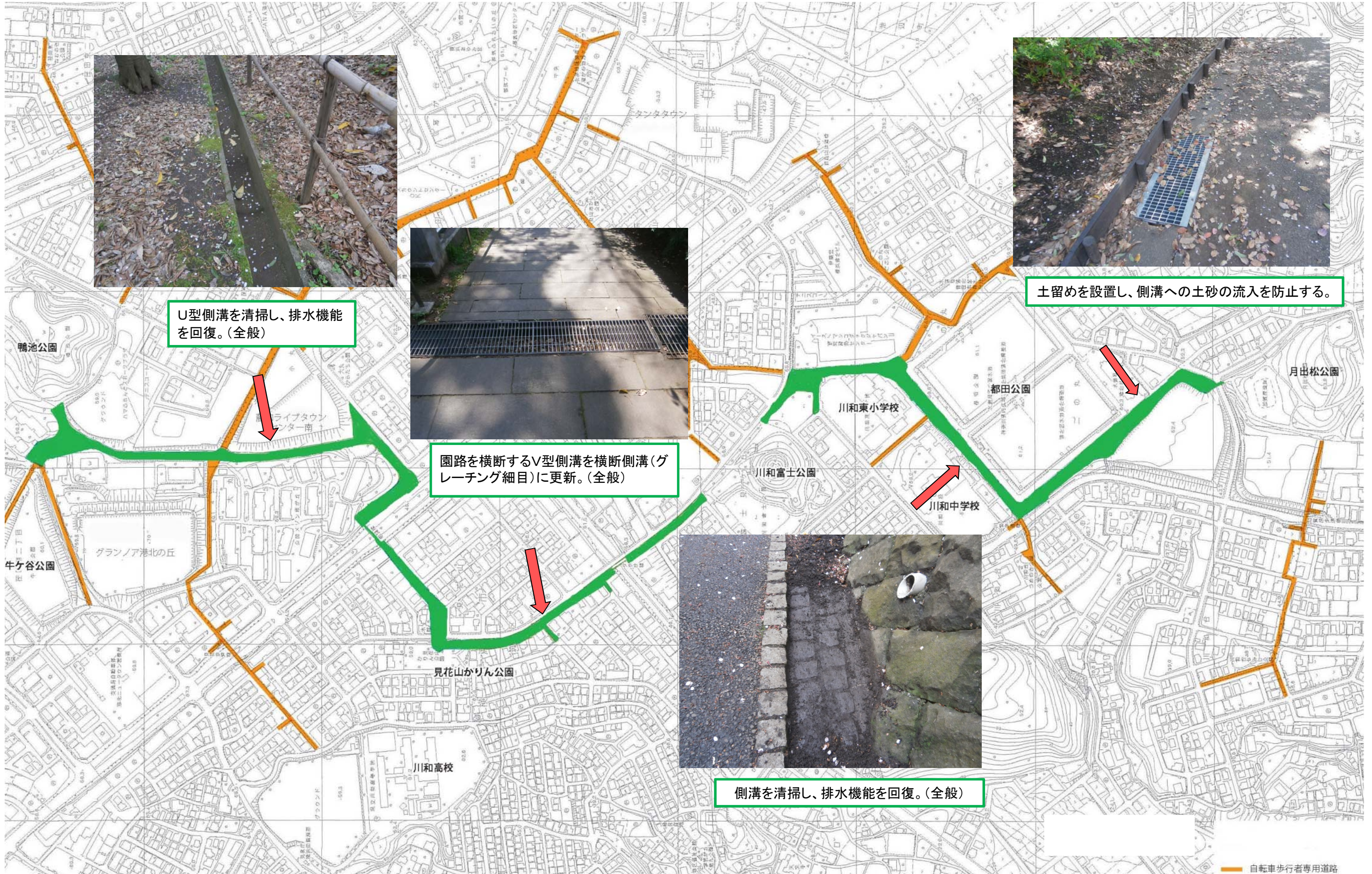
灯具交換施工例  
ささぶねのみち

省エネで、寿命の長いLED等の灯具に更新する。(全般)(イメージ)

— 自転車歩行者専用道路

## 解決の方向性4 排水

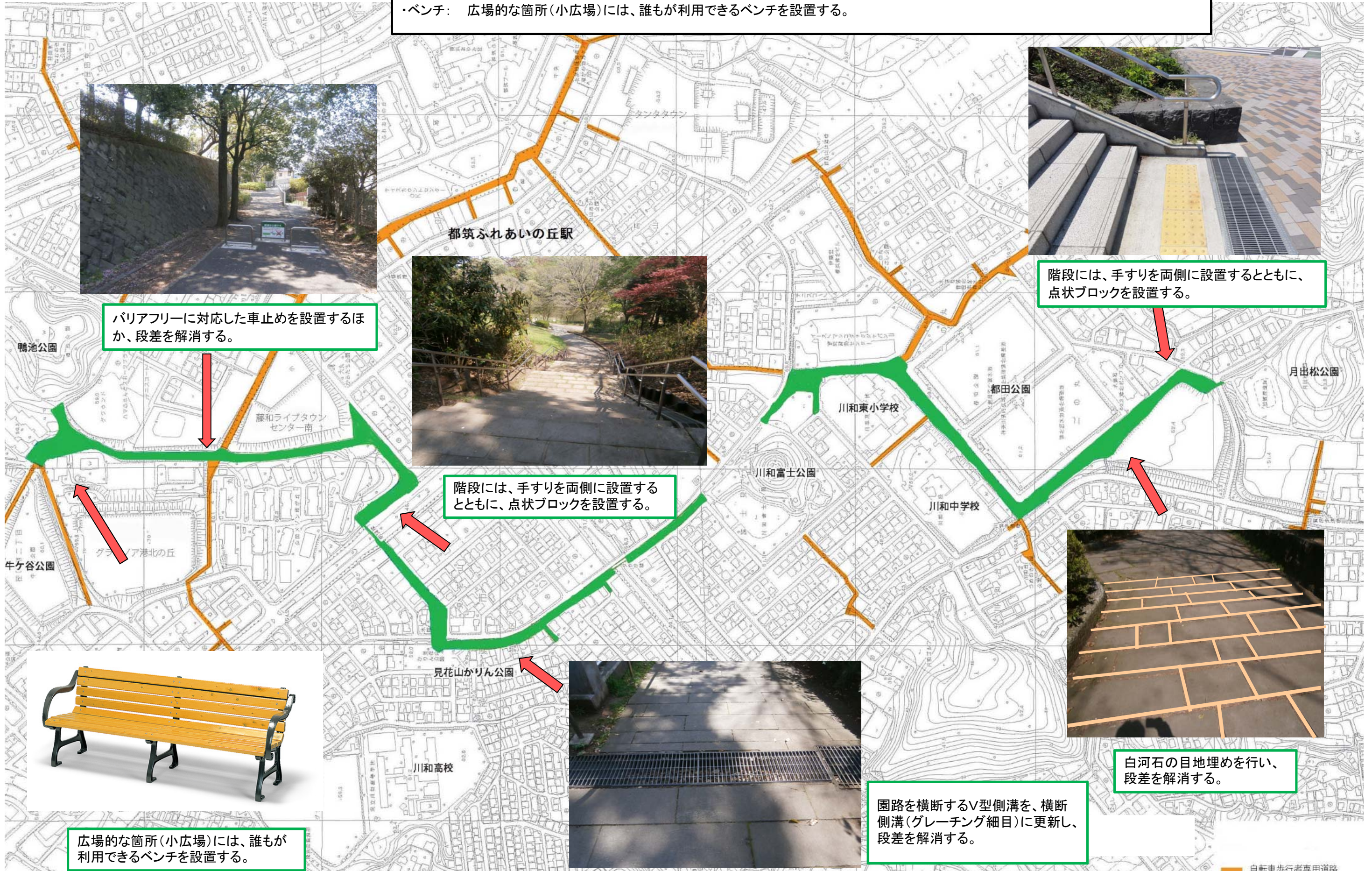
- ・既存の排水系統(柵、側溝、排水管)を活用する。
- ・側溝、柵の清掃により、排水機能の回復するとともに、必要に応じて土留めを設置する。
- ・園路横断部のV型側溝を、横断側溝(グレーチング細目)に更新し、段差を解消する。



# 解決の方向性5 バリアフリー

現行のバリアフリー基準に適合するよう改修を行う。

- ・階段：バス停への連絡階段等の利用頻度の高い箇所は、手すりを両側に設置するとともに、点状ブロックを設置する。
- ・出入口：バリアフリーに対応した車止めを設置するほか、段差を解消する。
- ・園路：園路を横断するV型側溝を横断側溝(グレーチング細目)に更新するとともに、白河石舗装の目地埋めを行い、段差を解消する。
- ・ベンチ：広場的な箇所(小広場)には、誰もが利用できるベンチを設置する。



バリアフリーに対応した車止めを設置するほか、段差を解消する。

階段には、手すりを両側に設置するとともに、点状ブロックを設置する。

階段には、手すりを両側に設置するとともに、点状ブロックを設置する。

白河石の目地埋めを行い、段差を解消する。

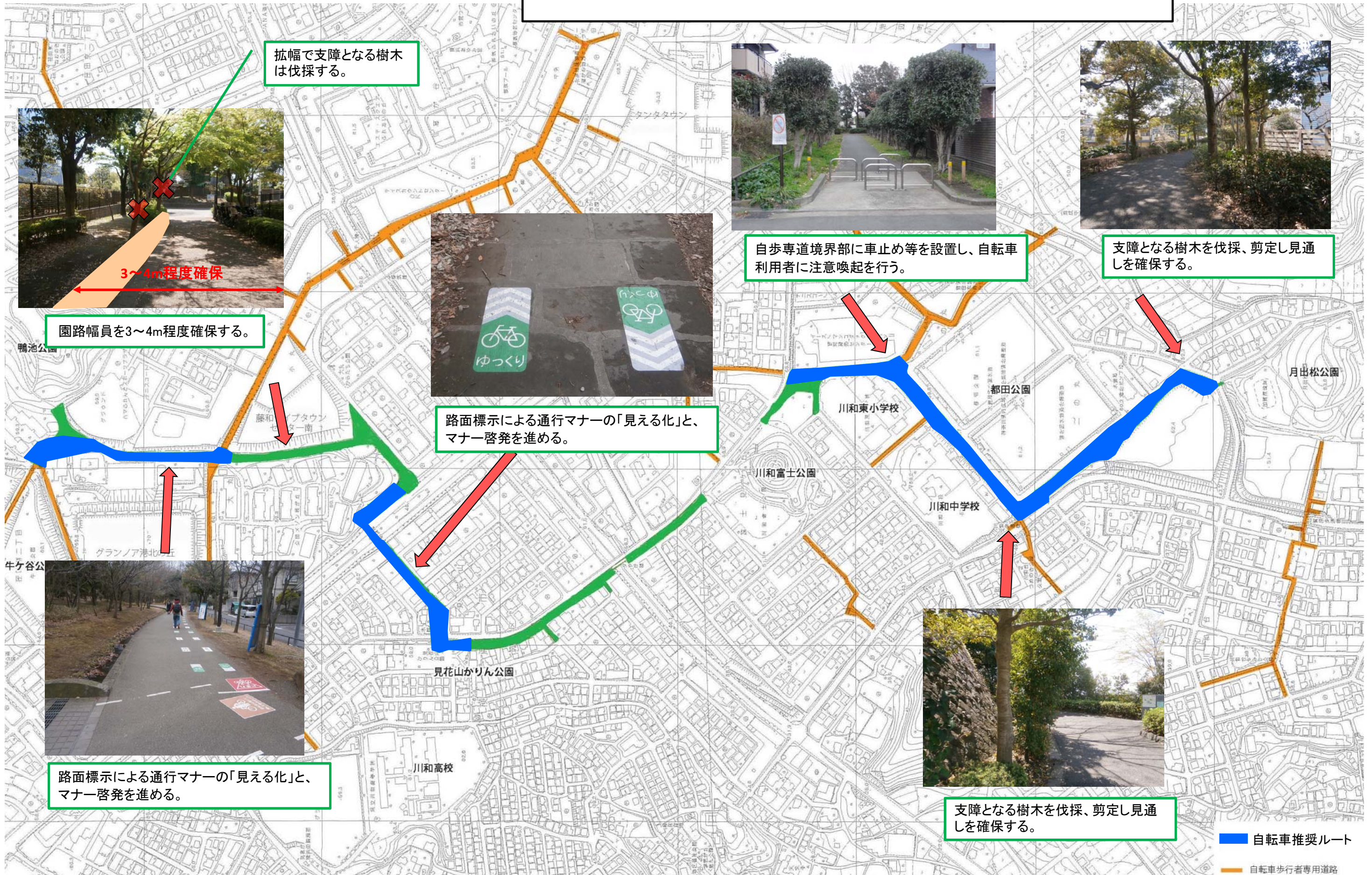
園路を横断するV型側溝を、横断側溝(グレーチング細目)に更新し、段差を解消する。

広場的な箇所(小広場)には、誰もが利用できるベンチを設置する。

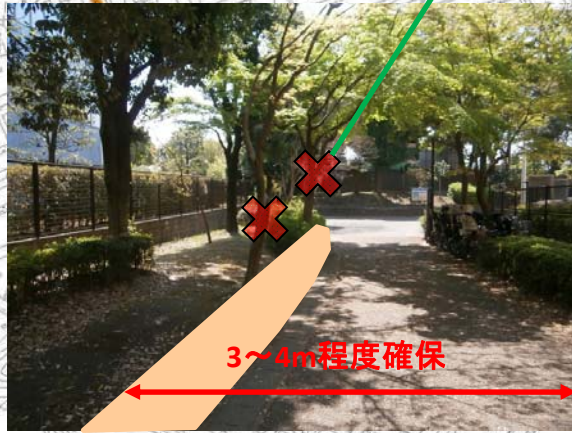
自転車歩行者専用道路

# 解決の方向性6 自転車・歩行者の安全

- ・都筑区自転車・歩行者安全事業計画に基づき、対策を実施する。
- ・園路の幅員を3~4m程度確保するため、必要に応じて支障となる樹木を伐採し、拡幅を行う。
- ・路面標示による通行マナーの「見える化」と、マナー啓発を進める。
- ・自歩専道との境界部に車止めの設置や、舗装の強調化を行い、自転車利用者に注意喚起を行う。



拡幅で支障となる樹木は伐採する。



園路幅員を3~4m程度確保する。



路面標示による通行マナーの「見える化」と、マナー啓発を進める。



自歩専道境界部に車止め等を設置し、自転車利用者に注意喚起を行う。



支障となる樹木を伐採、剪定し見通しを確保する。



路面標示による通行マナーの「見える化」と、マナー啓発を進める。



支障となる樹木を伐採、剪定し見通しを確保する。

■ 自転車推奨ルート  
■ 自転車歩行者専用道路